



発行所  
山形新聞社

〒990-8550  
山形市旅籠町2-5-12  
総合案内 023(622)5271  
読者センター 023(622)5666  
(平日9時30分～17時30分)  
(c)山形新聞社2017

2017年  
8月13日  
〈日曜日〉

速電  
報子  
版

やましん e聞

特別号外

■やまがた  
ニュースオンライン  
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ  
yamagata-np.jp  
/mobile/



詳しくは山形新聞を  
ご覧ください。



男子400メートルリレーで銅メダルを獲得し、笑顔の（左から）多田、藤光、飯塚、桐生  
＝ロンドン（共同）

# 日本「銅」

## 世界陸上 男子400メートルリレー

【ロンドン共同】陸上の世界選手権第9日は12日、ロンドンで行われ、男子400メートルリレー決勝で多田修平（関学大）飯塚翔太（ミズノ）桐生祥秀（東洋大）藤光謙司（ゼンリン）の日本は38秒04で銅メダルを獲得した。昨年のリオデジャネイロ五輪2位に続く表彰台で、世界選手権では初メダル。今大会の日本勢のメダル第1号となった。

### リオ「銀」に続く快挙

リオ五輪覇者のジャシ、モハメド・ファラマイカは現役最後のレースで第4走者を務めたウサイン・ボルトが脚を痛めてゴールできず、5連覇はならなかった。英国が37秒47で初優勝し、米国が37秒52で2位だった。男子十種競技で中村明彦は19位、右代啓祐（ともにスズキ浜松AC）は20位。同5000メートルはムクタール・エドリス（エチオピア）が13分32秒79で初優勝した。女子400メートルリレーは米国が41秒82で3大会ぶりに勝ち、第2走者のアリソン・フェリックスは大会史上単独最多の通算15個目のメダルを得た。金は10個目。同走り高跳びは「中立選手」として個人資格で出場したロシアのマリア・ラシツケネが2メートル03で2連覇した。

購読・試読のお申し込みは▶  
フリーダイヤル 0120-81-8040